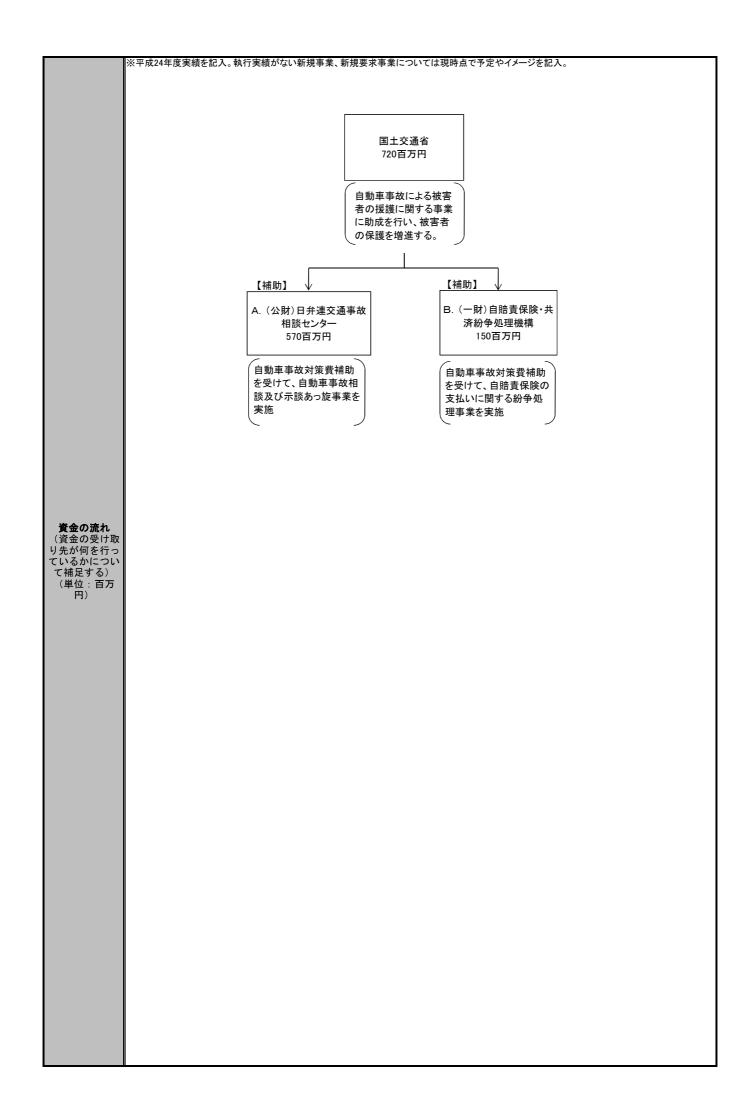
事業番号

187

平成25年行政事業レビューシート(国土交通省)														
4	事業名 被害者相談等自賠責制度の適正・円滑な執行			担当音	-		自動車局			作成責任者				
	業開始・ (予定) 年度	昭和42年~			担当	課室	保障制度参事官室				参事官 後藤 浩平			
会	会計区分 自動車安全特別会計 (自動車事故対策勘定)			政策・	施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 16 自動車事故の被害者の救済を図る								
()	拠法令 体的な も記載)	自動車損害賠償保障法附則第4項			関係する通知	等	自動車事故対策計画 (平成14年国土交通省告示第52号)							
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)				題や自賠責の保険 の整備を図り、自動					で中立な	弁護士	や医師等	専門	ヌによ る	る相談、
(5行	業概要 程度以内。 添可)			る損害賠償に関する 保険金の支払いに										
実	施方法	□直接実施	□委託·請負	■補助		〕負担	口交	E付 □貸	付	ロその	D他			
				22年度		23年度		24年度		25年	度	2	6年度	要求
		当	初予算	758			720	-	720		720			
_	***		正予算	-			-		-		-			
*	科 有額・ 執 行額 4位:百万円)	の状況繰	越し等	-			-		-		-			
(半江			計	758			720	-	720		720			-
		執行額		748			720	-	720				_	
		執行率(%)		98.8%		1	00.0%	100	100.0%					
		・ 示談のつ旋件数(ト段) ※達成度は、年度当初の計画に対する割合を示している。 <紛争処理事業に要する経費の補助> ・申請受付件数					単位	22年度	23年	度	24年	度	目	目標値 年度)
						成果実績	件	38,479	39,1	42	38,47	75		
	目標及び成				19) /	達成度	%	103	10	0	95			/
-	果実績 ウトカム)				てい	成果実績	件	2,639	2,3	58	2,35	3		
						達成度	%	98	87		99			
						成果実績	件	993	1,0	34	970)		
		※達成度は、年度当初の計画に対する割合を示している。				達成度	%	105	10	7	97			_
		活動指標 <事故相談・示談あっ旋事業等に要する経費の補助> ・相談件数(上段) ・示談あっ旋件数(下段)					単位	22年度	23年	度	24年	度	25年度	医活動見込
						活動実績	38,479	39,1	42	38,47	75		-	
活動排	指標及び活				助>	(当初見込み)	(37351)	(391	61)	(4030	5)	(3	6246)	
1	助実績 クトプット)					活動実績件	2,639	2,3	8	2,35	3		_	
						(当初見込み)		(2700)	(270	9)	(238	5)	(2	2100)
			業に要する経費の)補助>	I	活動実績	<i>1</i> /±	993	1,0	34	970)		_
		▶申請受付件数				(当初見込 ロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		(950)	(97	0)	(100	1)	(861)
単位当たり コスト		<事故相談・示談あっ旋事業等に要する経費の補助> 13,772(円/件) <紛争処理事業に要する経費の補助> 154,639(円/件)				(執行額/相談・示談あっ旋事業等に要する経費の補助> (執行額/相談対応・示談あっ旋件数) <紛争処理事業に要する経費の補助> (執行額/申請受付件数)								
第 ⁵		5 目	25年度当初予算	26年度要求				Ì	な増減理	曲				
	自動車事故	対策費補助金	72	0										

	事業所管部局による点検									
		項目			評価	評価に関す	る説明			
必費 要投	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。				0	本制度については、自動車事 支払いの確保を図るために、公				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				0	害者が無償で利用できる環境をお、自動車損害賠償保障法附近	を整える必要がある。な			
性入の	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業と なっているか。				0	事故対策計画に規定する事業 助を行うものであり、国が実施す	を実施する者に対して補			
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。									
事業の	受益者との負担関係は妥当であるか。									
	単位当たりコストの水準は妥当か。					本事業については、自動車事 事故相談・示談あっ旋事業や自	賠責保険金の支払いに			
効率	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					関する紛争処理事業に係る経動であり、補助額は必要最小限に	とどめており、支出先に			
性	費目・使途が事業目	目的に即し真に必要なものに限	定されているか。		0	おいても事業実施の効率化に勢	好めている。			
	不用率が大きい場	合、その理由は妥当か。(理由を	左右に記載)		_	_				
事業	事業実施に当たっ [*] あるいは低コストで	て他の手段・方法等が考えられ。 実施できているか。	る場合、それと比較してより	り効果的	0					
の有		に見合ったものであるか。			0	被害者からの相談件数や調停申請件数は増加傾向あり、ADR(裁判外処理)機能の充実が求められてい				
効性	整備された施設や	- 成果物は十分に活用されている	か。		_	中、その役割を果たしている。				
		場合、他部局・他府省等と適切な りな内容を各事業の右に記載)	な役割分担を行っているか	١,	_					
重複	事業番号	類似事業名	所管府省・	·部局名						
排除										
結果										
	,		行政事業レビュー推議	進チーム	の所見					
	!	所見る	を踏まえた改善点/概算	要求にお	ける反映	央状況				
	備考									
			関連する過去のレビュー	-シートの	事業番	号				
	平成22年	316	平成23年		0294	平成24年	0302			



	A.(4		_		E.			
	費目	使途	金 額		使 途	金額		
		弁護士に対する謝金	(百万円)			(百万円)		
		事務職員	112					
		リーフレット・広報等	19					
		郵便通信費、消耗品費等	13					
	研修費	開催経費(会場借料等)	9					
	計		570	計				
			L 幾構		F.			
	費 目	使途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
		 紛争処理委員に対する謝金	25			(日万円)		
	委託費	紛争処理事案の集計・分析等	2					
		リーフレット・広報等	1					
費目·使途	賃借料	事務所借料	21					
(「資金の流れ」に おいてブロックご	その他	人件費等	101					
とに最大の金額 が支出されている								
者について記載する。費目と使途								
の双方で実情が 分かるように記								
載)			150	計				
		C.			G.			
	費 目	使 途	金額(百万円)	費目	使 途	金額(百万円)		
			(17311)			(17311)		
	計			計				
	D.			H.				
	費目	使 途	金額(百万円)	費 目	使 途	金額(百万円)		
			.,	_				
	計			計				

支出先上位10者リスト

A.(公財)日弁連交通事故相談センター

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(公財)日弁連交通事故相談センター	弁護士により自動車事故に係る損害賠償に関する事故相談・示談あっ旋事業を実施	570		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.(一財)自賠責保険·共済紛争処理機構

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(一財)自賠責保険・共済紛争処理機構	医師等専門家による自賠責の保険金の支払いに関する紛争処理事業を実施	150		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					